



運動・感覚

健康・生活

認知・行動

言語・コミュニケーション

発達支援の「5領域」=社会生活能力

楽しく、着実に伸ばしています

前月号で、4月から「発達支援の5領域」を個別支援計画に取り入れることになったとお伝えしました。nicoでは心理士の監修のもと、保護者様には順に「S-M社会生活能力検査」を実施いただき、その結果を取り入れた計画づくりと支援に取り組んでいます。

検査の内容は、「手をつながなくても一人で歩道を歩ける」「おもちゃなどを友達と順番に使ったり、貸し借りしたりできる」等々、発達の成熟度を測る129問で、身辺自立、移動（自分の行きたい所へ移動するための能力）、作業、コミュニケーション、集団参加、自己統制力（わがままを抑え、自己の行動を責任を持って目的に方向付ける能力）の6分野から成り、5領域と合致します。



人間関係・社会性



検査では、OXの数から分野別の社会生活年齢が「身辺自立：〇歳〇か月」等とはっきり表れます。得意不得意はもちろん、優先課題や次の目標も分かりやすいのがうれしいところです。お子さまが将来どんな道に進んで、どんな生活をしていくのか。それには学力や知力よりもむしろ確かな「社会生活力」が問われる時代です。目指す将来の姿を描いて、そこから逆算しながら、ご家庭と園、nicoで連携して、お子さまの〇を一つずつ増やしていきましょう。

エアトランポリンの効果②

強度の高い全身運動で、呼吸機能や肺活量が高まります。発達に何らかの障害があると運動に疲れを感じやすかったり、逆にハイテンションで動き回りがすぎたりということが起きやすくなります。

トランポリンでは飛び跳ねる楽しさや爽快感から、運動が苦手な子供でも飛び跳ね続けて体力がつかます。ADHDなどで多動の状態にあるお子さんも、息が切れるほど存分に全身運動することで夜にぐっすり眠ることができ、多動であることで促される特定の発達が十分に進むため、早い段階で多動を卒業できることも多いと言われます。

げつ	か	すい	もく	きん	ど	にち
支援時間 ①10:00-11:00 ②14:15-15:15 ③16:00-17:00					1	2
①ひよこ…1・2歳児の親子参加クラスです。じっと座ってられなかったり、泣いちゃっても大丈夫！ わらべ歌や関わり遊び、感覚遊び等でゆっくりゆったり過ごしましょう						
3	4	5	6	7	8	9
①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	× ② ③	①ひよこ ② ③		
10	11	12	13	14	15	16
①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	× ② ③	①ひよこ ② ③		
17	18	19	20	21	22	23
①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	× ② ③	①ひよこ ② ③		
24	25	26	27	28	29	30
①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③	①ひよこ ② ③		

法改正で新しい加算が増えました。「専門的支援実施加算」は、専門性を有する職員が、5領域のうち特定の領域に重点を置いた「専門的支援実施計画」を立てて、お子様それぞれのニーズに合わせた支援を、月4回～6回を限度に行います。ご家庭でも一緒に取り組んでいきましょう。

S-Mとは、Social-Maturityの略語で、社会成熟度と訳されます。詳しく知りたい方は、お問い合わせください。

